

2020年12月24日
SOMPOホールディングス株式会社

『SOMPOの働き方改革』について ～創業130年で最大のプロジェクトへの挑戦～

SOMPOグループでは、コロナ禍を奇貨としたワークスタイルの進化とさらなる生産性の向上を目指し、働き方改革を「企業文化を変革する創業130年で最大のプロジェクト」と位置づけ、役職員が一丸となって取組みを進めています。

SOMPOホールディングス株式会社（グループCEO執行役社長：櫻田 謙悟、以下「SOMPOホールディングス」）は、このたび公式ホームページに『SOMPOの働き方改革』の特設サイト（<https://www2.sompo-hd.com/company/workstyle/pc/>）を新設しました。特設サイトでは、改革に込める想いや目指す姿、人事制度の見直しやデジタルの活用など、数々の挑戦の内容や現場の声を詳しく紹介しています。

『SOMPOの働き方改革』では、SOMPOグループの全世界8万人の役職員が自分のミッションを明確に認識して、やりがいと幸せを感じながら働き、飛躍的に生産性を高めることで、持続的に成長していくことを目指します。そして、すべてのステークホルダーの皆さまへ新たな価値を提供することを目指し、グループ経営ビジョンである「安心・安全・健康のテーマパーク」を実現していきます。

1. 取組みの背景

SOMPOグループは、これまで人の多様性を受け入れ、活かすこと（ダイバーシティ&インクルージョン）や、社員やその家族の心と体の健康を大切にすること（健康経営[®]）を経営の重要なテーマの一つとしてとらえ、その取組みを進めてきました。そして、それを基盤に徹底した「アウトプット主義」への転換を図り、場所を問わない働き方（リモートワーク）の早期導入や「ミッション・ドリブン」な働き方の定着を積極的に推進してきました。このたびのコロナ禍は、そうした取組みのさらなる強化の必要性和スピード感への意識を一気に高めることとなり、SOMPOホールディングスでは2020年8月に、新たにグループCEOを本部長とする「働き方改革推進本部」を設置し、『SOMPOの働き方改革』を経営の最優先課題の一つとして加速させていくことを決定しました。

SOMPOグループは、これからも働き方を変えるさまざまな施策を展開し、全世界8万人の役職員が、あらゆるステークホルダーからの期待に応える魅力的なグループ、「いて欲しいSOMPO、いなくては困る「SOMPO」となることを目指して取組みを進化させていきます。

※健康経営[®]は、NPO 法人健康経営研究会の登録商標です。

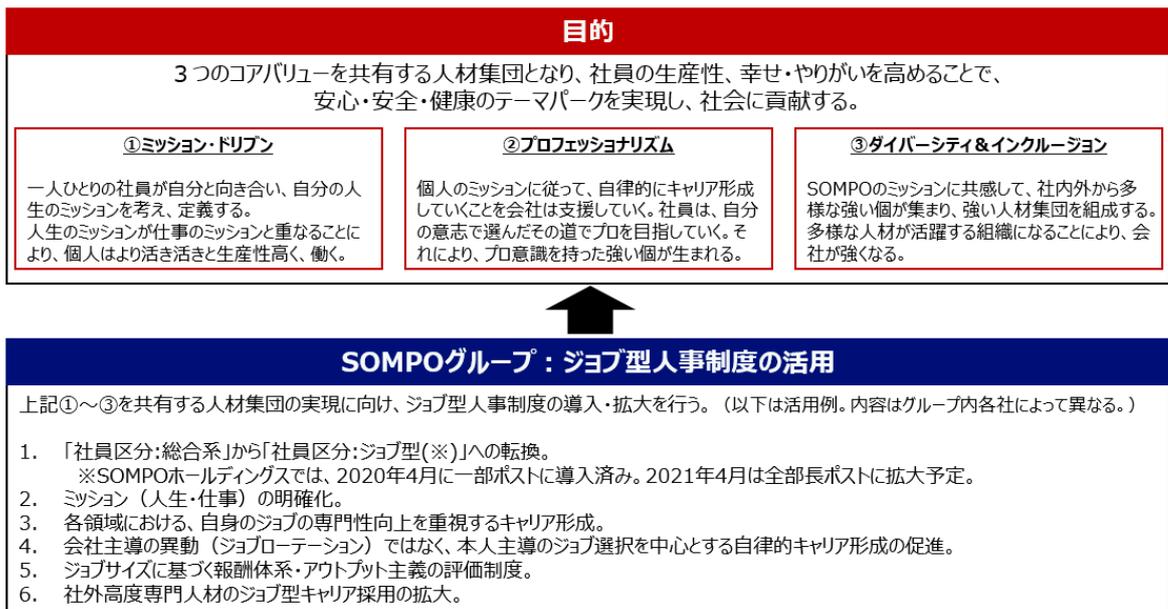


2. 『SOMPOの働き方改革』の概要と主な施策

(1) 人材集団の変革

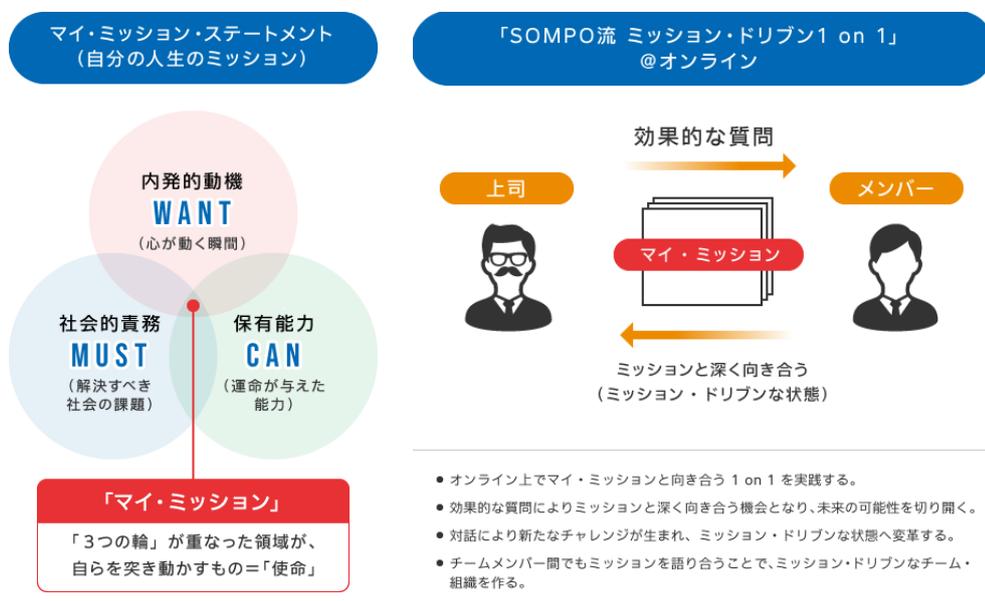
① ジョブ型人事制度の導入・拡大

SOMPOグループは、社員の「やりがい・幸せの実感」「生産性の向上」によって、社員と会社が持続的に成長し、「安心・安全・健康のテーマパーク」を実現するため、ジョブ型人事制度の活用をスタートしました。制度の活用を通じ、目指す人材集団の3つのコアバリューである「ミッション・ドリブン」「プロフェッショナリズム」「ダイバーシティ&インクルージョン」の社員への浸透を促進していきます。SOMPOホールディングスでは、2020年4月に先行して一部のポストにジョブ型雇用を導入済みであり、グループ内各事業会社においても、自社事業の特色に合わせた導入・活用を進めていきます。



② ミッション・ドリブン 1 on 1

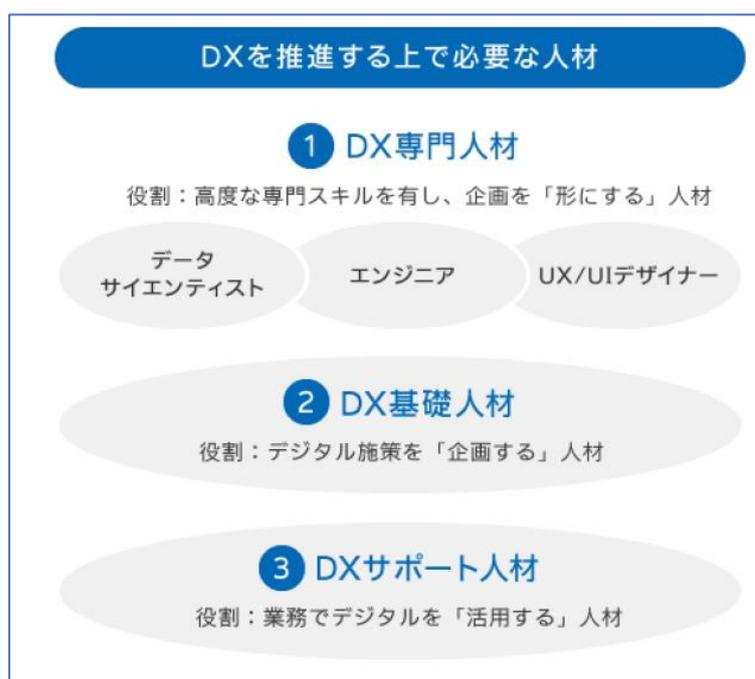
「ミッション・ドリブン」な企業文化への変革を目指し、オンラインでのマネジメント研修MLP(ミッションドリブン・リーダーズ・プログラム)を開始しました。1 on 1を通じて、一人ひとりが自身のミッションと向き合うことを支援し(ミッション・ドリブン 1 on 1)、自律的な働き方を実践していきます。



③デジタル人材育成

SOMPOグループは、デジタルを活用した既存事業の変革と新事業創出による企業価値向上に積極的に取り組んできました。これから本格的に展開していくデジタル人材育成においては、全社員がDX（デジタルトランスフォーメーション）を推進する上で必要な人材であるという理念のもと、「人を変え、仕事を変えて、会社を変えていくこと」を目指しています。

具体的には、高度な専門スキルを有する「DX 専門人材」、デジタル施策を企画しDX 推進の核として組織を牽引する「DX 基礎人材」、デジタルを活用したお客さまへの価値提供の担い手である「DX サポート人材」の3区分を定義し、それぞれの役割に応じた人材を育成していきます。「DX 基礎人材」が企画したものを、「DX 専門人材」が実現し、「DX サポート人材」が活用するサイクルを循環させることでグループ全体のDXを加速させていきます。



(2) 多様な働き方

①場所を問わない働き方

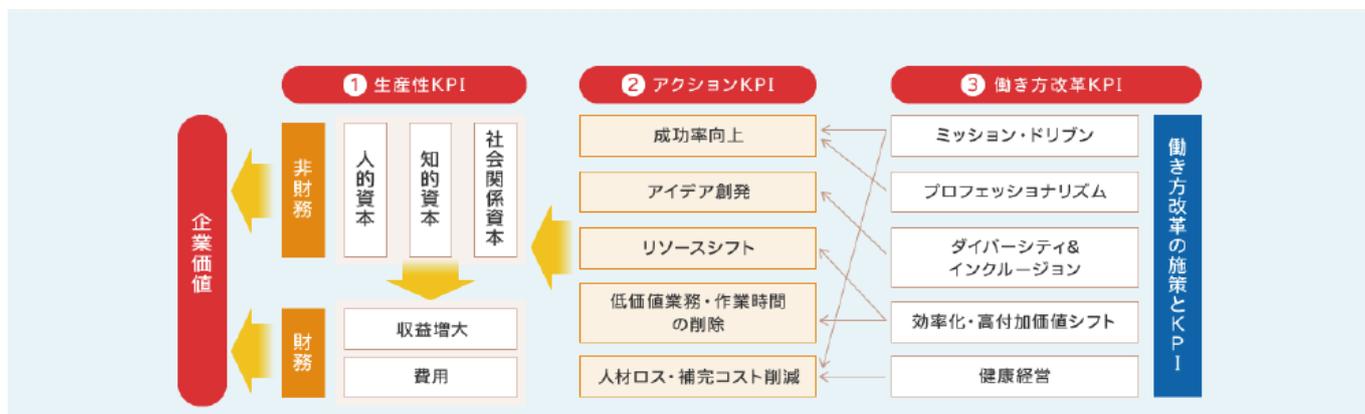
これからの社会において、生産性の向上を実現していくためには、場所を問わない働き方（リモートワーク）が重要なカギとなります。一人ひとりの状況に応じた最適な働き方の選択や業務適性に即した働き方ができるよう、各種制度の整備を進めています。また、ノートパソコンやスマートフォンなどの配備、オンライン会議ツールの整備などの環境整備に必要な投資を行っています。

②服装自由化

SOMPOグループは働く場所だけでなく、社員の服装にも自由な発想を取り入れています。従来の慣習で服装を決めるのではなく、お客さま、自分、所属チームの3つの視点に基づいて、自らの意思で最高の結果を出すためのスタイルを選択する意識を醸成するため、「#Be You -あなたらしく、働く-」をコンセプトとしてグループ内で浸透を図っています。

(3) 働き方改革の効果の見える化

SOMPOグループは、働き方改革から企業価値向上に至る流れを計測可能なKPI群で示す「生産性KPI体系」を構築していきます。働き方改革の進捗や成果をグループ全体で体系化・可視化することで取組みの効果検証やモニタリング、社員への理解・浸透につなげていきます。



3. 今後について

SOMPOホールディングスは、2021年度から始まる次期中期経営計画における基本戦略の一つとして、働き方改革を位置づけていく方針です。『SOMPOの働き方改革』の取組みの進化と定着に向けて、グループ内事業会社へ取組みの拡大を進め、役職員一人ひとりのやりがいや生産性の向上を図ることで、「安心・安全・健康のテーマパーク」の実現を目指していきます。

以上